

理科（生物） 学習指導計画（第6学年）

科 目		生物	対象学年	第 6 学年	単位数	4 単位	担 当 者		
教 科 書		生物 (東京書籍)		補助教材	スクエア最新図説生物neo(第一学習社) ニューグローバル生物(東京書籍)			区 分	学校必履修選択
学習目標		生物基礎での学習内容を発展させ、自然に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観を育む。 また、最新の生物学の内容に対して興味・関心を持ち自ら考える能力を身に付ける。一方、実験・観察等を通して科学的な考察ができるようにする。							
期	月	単 元	学習内容				評価計画		
1 学 期	4	生殖と発生	生物の有性生殖 動物の発生 動物の発生のしくみ 植物の発生				学習の様子 提出物		
	5		1 学期中間考査				・プリント ・レポート		
	6		動物の刺激の受容と反応 動物の行動				小テスト 定期考査		
	7	生物の環境応答	植物の環境応答						
	9		7 月考査						
	10		生物の多様性と生態学 個体群と生物群集 生態系の物質生産とエネルギーの流れ 生態系と生物多様性						
		生物の進化と系統	1 学期期末考査						
			生命の起源と生物の変遷 進化のしくみ 生物の系統						
			2 学期中間考査						
		総合演習	大学入試問題を取り扱い、総合的に高校の生物学 を見直す。						
2 学 期	11								
	12								
	1								
	2								
	3								
学習者 への 注意		- 理科の学習法としては、予習は教科書を一読し、用語問題を解く。復習はノートを見返し、学習した内容の問題集を解くなどで理解を深めること。授業では基本的な原理・法則を伝えることしかできないため、ノートを見返し、問題集で問題を解くなど、理解を深めること。 - 実験は真剣に、意欲的に取り組み、実験・観察結果について十分に考察すること。 - 評価は学習の様子（発問評価を含む）、提出物等の提出状況と内容、定期考査、小テストの結果から総合的に判断する。特に定期考査の比重が大きい、考査前に集中して学習するのではなく、普段から少しずつ学習することを強く勧める。 - 最新の生物学に対して、日頃よりニュースなどに関心を持ち続けてほしい。必ず復習を行うとともに、問題集による演習も行うこと。							
評価 の 方法		定期考査（含む小テスト）・授業の様子・提出物等の状況・内容により評価を行い、学習の様子により、加点、減点を行う。学習の様子が著しく不良の場合は、大幅な減点もありうる。							